卒業論文の執筆と提出について

2023 年 04 月 19 日　策定
心理学部

A. 卒業論文の提出

春学期提出者

- 提出期間：2023 年 7 月 10 日（月）0:00～7 月 12 日（水）15:00 厳守
- 提出方法：Microsoft Forms へ電子データとして提出（URL は別途周知）
- **卒業論文試問会　▸2023 年 7 月 19 日（水）**
- **卒業論文発表会　▸2023 年 7 月 19 日（水）**

秋学期提出者

- 提出期間：2023 年 12 月 16 日（土）0:00～12 月 20 日（水）15:00 厳守
- 提出方法：Microsoft Forms へ電子データとして提出（URL は別途周知）
- **卒業論文発表会　▸2024 年 1 月 27 日（土）**
- **卒業論文試問会　▸2024 年 1 月 30 日（火）**

提出部数：

【卒業論文（本編）】▸　Microsoft Word 形式　1 部, PDF 形式　1 部　**計 2 部**
【卒業論文（梗概）】▸　Microsoft Word 形式　1 部　**計 1 部**

ファイル名は以下の命名規則を遵守すること。

【卒業論文（本編）】※●部分には提出学期（春か秋）を入力する。
提出形式（Word）▸**【卒業論文（本編）】23●_〇〇ゼミ_執筆者・執筆者….docx**
提出形式（PDF）▸**【卒業論文（本編）】23●_〇〇ゼミ_執筆者・執筆者….pdf**
【卒業論文（梗概）】
提出形式（Word）▸**【卒業論文（梗概）】23●_〇〇ゼミ_執筆者・執筆者….docx**

（例）23 年度秋学期に提出する場合

【卒業論文（本編）】23 秋_青山ゼミ_田中・鈴木・斉藤.docx
【卒業論文（本編）】23 秋_青山ゼミ_田中・鈴木・斉藤.pdf
【卒業論文（梗概）】23 秋_青山ゼミ_田中・鈴木・斉藤.docx

注意点：

*共同執筆の場合は、代表者が責任を持って提出すること。

*システム障害により Microsoft Forms が使用できない場合を除き、遅れ提出は認めない。期間内直前にインターネット環境等の問題で提出できないなどのトラブルを考慮し、必ず早めに提出すること。

*提出機会は提出期間内に一度のみ。一度提出した卒論を修正して再提出することは認められない。

*試問会と発表会の両方に出席しなければ卒業論文の単位は認められないので、必ず両日のスケジュールを終日空けておくこと。各々の詳細は別途資料を配布する。

B. 卒業論文執筆要項

1. 卒業論文は表紙、目次、本体(要約・本文・引用文献)の順で作成する。

2. 表紙には表題、学生 ID、氏名を記し、ページ番号は要約を第 1 ページとし、第 2 ページから本文を始め、それ以降は引用文献の最終ページまで付す。

3. 必要に応じて本体の後に付録を付けてもかまわないが、付録を見なくても内容がわかるように本文を書く。

4. 執筆言語は原則として和文とし、特段の理由がある場合は英文での執筆を認めるが、必ず事前に指導教員へ相談すること。

5. 卒業論文は Microsoft Word で作成する。

6. 書式は、A4 判縦長、白地に黒印字とする。

7. 和文の場合の字数は、1 枚あたり 1,000 字(40 字×25 行)で、余白は上下 30mm、左 30mm、右 15～20mm 取る。1 行あたり 40 字に満たない場合は右余白を 15～20mm の範囲で調整して 40 字にする。

8. 英文の場合の字数は、1 枚あたり 350 ワード(30 行を目安とする)で、余白は上下 30mm、左 30mm、右 20mm 取る。

9. ページ数は、図表を含み、12～20 ページとする。ページ数に含められるのは「要約～引用文献」までで、表紙、目次、付録はページ数に含めない(付録には「付録-1」のように別のページ番号を付す)。特別の事情がある場合に限り、プラス 10 ページを上限として超過を認めるが、不必要に超過した場合は書き直しの対象となり得る。

10. 文字は、フォントサイズ 10.5～12 ポイントとし、本文のフォントは明朝体とする。

11. 上記以外の執筆規定は、日本心理学会 執筆・投稿の手びき(2022 年版)(図 1)に準ずる。以下の URL から必ず確認すること。
http://www.psych.or.jp/publication/inst/tebiki20150910_fixed_compress.pdf
詳細は各ゼミ指導教員の指示に従うこと。

12. Microsoft Word の雛形ファイル(和文のみ)を下記学部サイトにアップロードするので、適宜ダウンロードして利用してもかまわない。ただし、最終的な体裁は各自で確認すること。
https://psych.doshisha.ac.jp/lecture_support/

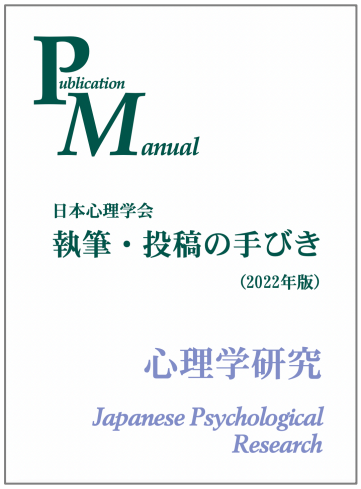

図 1. 日本心理学会 執筆・投稿の手びき (2022 年版)

C．梗概（こうがい）

1．卒業論文の梗概とは、学部紀要『同志社心理』に掲載するための原稿である。Microsoft Word で作成する。

2．内容は、卒業論文の要約と同様でかまわないが、以下の形式に従って適宜修正する。なお、卒業論文を英文で作成した場合でも、以下の形式に従い和文で作成する。

3．字数は、A4 縦、1 行につき 40 文字。卒業論文タイトルから所属ゼミ名まで、全体として 12 行以上 14 行以内で作成する（梗概本文で 12～14 行ではない）。

4．フォントサイズは、10.5～12 ポイントとする。

5．1 行目に、卒業論文のタイトルを記してセンタリングする（英文作成者に限り英文タイトルを 1 行目、和文タイトルを 2 行目に併記する。英文タイトル分があるので 1 行分増した形式となる）。

6．2 行目は、空白行とする（英文タイトルの場合はこの行が和文タイトルになる）。タイトルが 2 行以上にわたる場合にもタイトルの下の行を空白行とする。この場合でも全体として 12 行以上 14 行以内とする。

7．3 行目は、右寄せで執筆者名を記す。執筆者が複数の場合は、名前の間に「・」をはさみ、学生 ID 順に並べる。学籍の年度が異なる場合は、年度の早い者から書く。

8．4 行目から梗概本文を書く。

9．最終行に右寄せでカッコ内にゼミ名を記す。たとえば（新島ゼミ）というように指導教員の姓のみを記す。

10．執筆にあたり、以下の見本を参考にすること。

【梗概執筆の見本】

卒業論文タイトル

同志社太郎・心理学花子

卒業論文の梗概は、「同志社心理」に掲載するために提出してもらう原稿です。内容は、卒業論文の本体につける要約と同じでもかまいませんが、目的、方法、結果、結論の全てを含んでいる必要があります（引用文献は不要です）。卒論本体と同じく必ず提出前に指導教員のチェックを受けて下さい。適当なところで段落を設けてもかまいませんが、図表を含めることは出来ません。1 行目にタイトル（提出した卒業論文と同じもの）、2 行目は空けて、3 行目に右寄せで執筆者名、4 行目から本文とします。本文最終行右端にゼミ名をカッコ内に記入して下さい。

「同志社心理」は同志社大学心理学部の皆さんに配布されるだけでなく、全国の大学や心理学関係の研究所に送付され、学外の多くの人にも閲覧されます。したがって、内容などに誤りがないよう十分に気を付けて下さい。

（新島ゼミ）